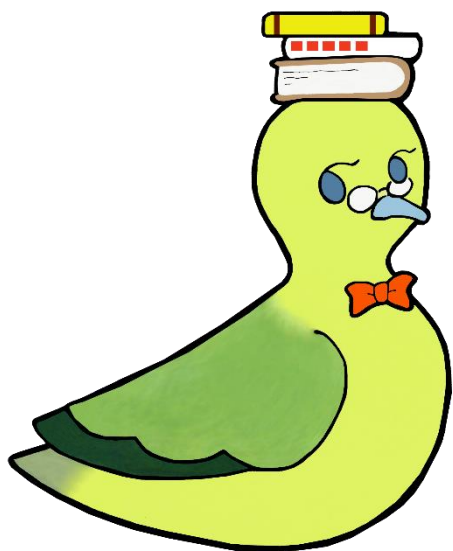


令和3年度 たるばとプロジェクト

小樽市子どもの読書活動推進計画
市立小樽図書館子ども読書事業



たるばとプロジェクトは
小樽の子どもたちに読書の
楽しさを伝える図書館
プロジェクトです



市立小樽図書館

たるばとプロジェクトについて

1 基本目標及び基本方針

平成31年3月「小樽市子どもの読書活動推進計画」が策定され、平成31年4月から、市立小樽図書館の子ども読書事業として、「たるばとプロジェクト」がスタートしました。

基本目標を「全ての子どもに読書の楽しさを～生きる力を育む読書環境 づくり～」として、次の4つの基本方針に基づき、子どもたちが、家庭・地域、幼稚園・保育所、学校、市立図書館等様々な場所で、いつでもたくさんの本と出会い、読書に親しむ機会の提供や読書環境の整備に取り組む内容となっています。

基本方針 1 子どもの発達段階に応じた読書に親しむ機会の提供

2 子どもの読書活動に関する普及・啓発

3 子どもの読書環境の整備・充実

4 子どもの読書活動を推進するための体制の整備

2 市立図書館の子ども読書活動推進の取組み

市立図書館では、平成30年度、図書館の3つの運営の方針を掲げ、そのひとつとして、図書館内に子ども読書チームを立ち上げ、おはなし会やボランティアの方との連携による事業やスクールライブラリー便や学校図書館クリニック等学校図書館との連携・支援等により、子ども読書の取組みを進めてきました。令和元年度より計画のスタートに合せて「たるばとプロジェクト」として子ども読書活動の推進に取り組んでおります。令和3年度以降も改善をしながら引き続き取組みを進めてまいります。なお、現在、新型コロナウイルスの感染拡大防止の対策も重要となっております。当館では、国が示した「新しい生活様式」を受け道から示されている「新北海道スタイル」により運営を行い、安心して過ごせる図書館であることを第一に考え、新しい図書館の運営について検討し、取り組んでまいります。

市立小樽図書館運営の方針

1 「子どもと本の出会いをつくります」

赤ちゃんから高校生まで、成長段階に合せて読書活動を支援します。

学校図書館への連携・支援を図ります。

2 暮らしや地域の課題解決に役立つ情報拠点を目指します。

小樽に関する郷土資料や地域資料の収集・整理・発信します。

暮らしや仕事に役立つレファレンスの取組みと情報発信します。

3 市民との協働や様々な連携を図ります。

博物館等の社会教育施設及び小樽商科大学等様々な機関・団体・ボランティア等の連携協力を進めます。

3 たるばとプロジェクト（令和3年度）について

令和3年度は、乳幼児向けの本のセット貸出し「たるびよセット」の本格実施やパスファインダーの作成などを重点内容とし、別添の取組案のとおり計画しております。

小樽市子どもの読書活動推進計画に基づく「市立小樽図書館子ども読書事業」
たるばとプロジェクト（令和３年度）

1 子どもの発達段階に応じた読書に親しむ機会の提供

○ 本との出会いを生み出す

☆小樽市ブックスタート事業

小樽市ブックスタート協議会の構成員として、保健所で実施する乳幼児(10 か月)健康診断時に絵本の贈呈や紹介等を行います。

●**新規**

☆たるびよパック（乳幼児向けの図書のセット貸出）

ブックスタートにおすすめの本を、読み聞かせに不慣れな利用者にも選びやすいよう、専用バッグに入れてセットで貸し出します。

○ 本を楽しむ場の提供

☆たるびよタイム 乳幼児向けおはなし会

毎週金曜日午前 11 時～11 時 30 分(館内整理休館日を除く)

乳幼児と保護者を対象に、読み聞かせや手遊び等を取り入れたおはなし会や乳幼児向けの絵本の紹介等を行います。

☆たるばとクラブ

第1・3 土曜日午後2時～3時

季節や行事に合わせて、おはなし会や工作、アニメの上映等様々なイベントを開催します。一緒に準備する等参加型のイベントも行います。

☆おはなし会（出前講座）

学校・幼稚園・保育所・町内会等、様々な場所に出かけて読み聞かせをします。申込みにより実施します。

☆子どもシアター劇場

子ども向けの長編アニメ映画を上映し、おはなしの世界を楽しみます。

☆幼保ブックフェスティバル

幼稚園・保育所等へ約 200 冊の絵本を持参し、読み聞かせやエプロンシアターを行ったり、絵本の貸出しをします。

☆わくわくブック号がやってくる

移動図書館車「わくわくブック号」が学校、幼稚園、保育所等を訪問し、車内の見学、図書館の使い方の紹介、本の貸出しを行います。

☆出張展示会

様々な施設や機関と連携して資料展示会を開催します。

☆大型絵本・エプロンシアター等の貸出し

学校、幼稚園、保育所、団体等に図書館で所蔵する大型絵本、エプロンシアター、パネルシアター、アニメDVD等を貸出します。

☆貸出文庫

放課後児童クラブや児童デイサービス等に各施設 30～40 冊程度を長期間（1 か月～1 年目安）貸し出します。

○ 学校との連携による読書に触れる機会の提供

☆学校ブックフェスティバル

学校内に約 1,000 冊の児童書を広げ、多くの本の中からお気に入りの本を宝探しのよう探し、貸出しをする読書イベントです。

☆職業体験（インターンシップ）

本の整理や貸出し等司書の仕事を体験をする機会を提供します。

☆こしょナビ（調べもの応援タイムから名称変更）

夏・冬休み等に市立図書館児童室に特設コーナーを設け、司書が本の調べ方等をアドバイスします。

☆調べ学習利用

学習の理解を深めるため、図書館での調べ学習の場を提供し、調べもののアドバイスをします。

☆授業支援

百科事典の使い方等調べ学習やブックトーク等様々なテーマの本の紹介等を支援します。

☆講師派遣

高文連や学校図書館関係研修に講師を派遣します。

☆施設見学・利用案内

学校、幼稚園、保育所等市立図書館内を見学、図書館の使い方や読み聞かせ等を行います。

☆わくわくブック号がやってくる（「本を楽しむ場を提供」の同項目参照）

2 子どもの読書活動に関する普及啓発

○啓発事業

☆春のこども読書週間

4月23日（子ども読書の日）から5月12日までのこどもの読書週間に併せておはなし会、展示、ゲーム、ボランティアによる人形劇を行います。

☆としょかん発おたる子ども読書の日開催

秋の読書週間中に、市立図書館で、図書館、ボランティア、絵本作家等の参加による啓発イベントを開催します。子どもの読書に関する講演会やおはなし会、展示、ゲーム等の多彩な事業を予定しています。

☆学校における読書活動の紹介

市立図書館において、小中学校の学校図書館だよりの展示や読書の取り組みを紹介します。

○ 情報の発信

☆「きっずおたる」の発行（毎月）

市立図書館の事業やおすすめの図書等、子ども向けの図書館だよりを発行します。

☆学校図書担当向け「たるばとレポート」の発行（年6回程度）

学校図書館との連携事業や、おすすめ本の紹介等、学校の読書活動を進めるための様々な情報を紹介します。

☆ホームページ・フェイスブックによる情報提供

ホームページに子ども読書に関わる大人と子ども向けのコンテンツを作成し、子ども読書に係る事業等の情報を提供します。

3 子どもの読書環境の整備・充実

○ 市立図書館の環境整備・充実

☆児童書の充実

より読書に親しむための絵本、読み物、図鑑等の充実を図ります。

☆資料展示会

新刊展示、ミニ展示、テーマ展示等、読書をより楽しむための様々なテーマの資料の展示を行います。

☆児童コーナーの整備

親しみやすい児童コーナーとするため、季節に応じた飾り付けや書架づくりを行います。

☆デジタルライブラリの充実

小樽の歴史に関する写真や地図等をデジタル化し、WEB 上で公開することで、学校における地域学習への支援を行います。

○ 連携による学校図書館の環境整備・充実

☆スクールライブラリー便による貸出

学校における読書や調べ学習、授業で活用する本を貸し出します。

活用に応じた長期便、短期便、リクエスト便があります。

☆学校図書館運営相談

本の選書や整理方法等学校図書館の運営に関する相談を行います。

☆学校図書館クリニック

教員やボランティアと協力しながら、古い本の整理や、図書室のレイアウトの変更等学校図書館の改善を支援します。

4 子どもの読書活動を推進するための体制の充実

○ 子ども読書を支える職員の育成

☆学校司書支援

学校司書の研修や活動を支援します。また、学校司書・図書館連携会議において、さまざまな情報提供や読書活動のアドバイス等を行います。

☆教職員研修

読書活動に関する教職員向けの研修会を行います。

☆子ども読書担当職員の研修会参加

北海道学校図書館や後志図書館協議会の講座等、各種研修会に参加し、スキルアップを図ります。

○ ボランティア関係団体・機関との連携

☆関係機関・団体等との連携や情報提供

読み聞かせボランティア交流会等各種研修会に講師を派遣する等、育成の支援を図るほか、様々な情報提供を行います。